

【六月の言葉（平成二十九年）】

私は、「うそを言ったことがない」と、うそを言う。

人間は、自我に執着して生きています。思い通りにならないから、うそを言ったり、ごまかしたり、飾ったりするのです。どこまでも身勝手に自己保身いっばいに生きています。

これが苦しみの元凶です。

人間の自我が無くならないように、煩惱も無くなりません。そうであるならば、煩惱を無くそうと頑張るのではなく、

私は煩惱具足の凡夫である^①と自覚することが大事なことです。

仏の願い（慈悲）は、そんな私に向けられています。

「そのままのあなたでいいのですよ。」

そんなあなただから放っておけないのです」

と、私をしつかり包んでくださっています。

煩惱をいっばい持った私だからこそ、救われるのです。

ほんのうぐそく

※①煩惱具足^{ほんぶ}＝煩惱が十分に備わっていること

②凡夫^{ぼんぷ}＝煩惱に束縛されて迷っている人